

令和元年度 京都市歴史資料館 評議委員会議

日 時 令和2年3月13日(金) 10:00 開会

会 場 同志社 新島会館 2階 貴賓室

次 第 開会

令和元年度事業報告説明

令和2年度事業計画説明

歴史資料館運営予算について

その他

令和元年度 京都市歴史資料館 評議委員会議

議 題	令和元年度事業報告説明
	令和2年度事業計画説明
	歴史資料館運営予算について

京都市歴史資料館 評議委員会議 配布資料

資料 1 京都市歴史資料館評議委員名簿

資料 2 京都市歴史資料館評議委員会議開催要綱

資料 3 令和元年度事業報告

参考資料 別紙 1 概要

参考資料 別紙 2 利用状況

参考資料 別紙 3 資料の収集状況

資料 4 令和 2 年度事業計画

資料 5 京都市歴史資料館歳入・歳出予算・決算額推移表

資料 6 平成 30 年度京都市歴史資料館評議委員会議議事録

京都市歴史資料館評議委員名簿

平成31年4月1日現在

氏 名	役 職 等	専 門 分 野
荒木 かおり	川面美術研究所所長	彩色復元
宇佐美 英機	滋賀大学 名誉教授	日本近世史・経営史
片山 真理子	東京芸術大学美術学部附属古美術研究施設非常勤講師	美術史
坂本 博司	宇治市歴史資料館 前館長	地域史・食文化史
竹村 佳子	元学校歴史博物館 学芸員	生涯学習・社会教育
玉城 玲子	向日市文化資料館 館長	地域史・中世史
武川 寛	市民公募	

(敬称略，50音順)

京都市歴史資料館評議委員会議開催要綱

(平成25年11月15日決定)

(趣旨)

第1条 京都市歴史資料館の展示，講座，調査研究その他の業務について，専門的な見地及び市民の立場から幅広く意見を求めることを目的として，京都市歴史資料館評議委員会議（以下「会議」という。）を開催する。

(委員)

第2条 会議に参加する委員は，学識経験のある者その他市長が適当と認める者のうちから，市長が依頼する。

2 前項の規定により依頼する委員の人数は，7人以内とする。

(任期)

第3条 委員の任期は，2年とする。ただし，補欠の委員の任期は，前任者の残任期間とする。

2 委員は，再任されることができる。

(会議の招集)

第4条 会議は，歴史資料館長（以下「館長」という。）が招集する。

(補則)

第5条 この要綱に定めるもののほか，会議の開催に関し必要な事項は，館長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この要綱は，決定の日から施行する。

(経過措置)

2 平成27年3月24日までの間，会議の委員の人数は，第2条第2項の規定にかかわらず，10人とする。

3 この要綱の施行の際現に京都市歴史資料館評議員規則に基づく京都市歴史資料館

評議員である者は、この要綱の施行の日（以下「施行日」という。）に会議の委員として依頼されたものとみなす。この場合において、その依頼されたものとみなされる者の任期は、第3条第1項本文の規定にかかわらず、施行日における京都市歴史資料館評議員としての任期の残任期間とする。

令和元年度事業報告

1 展示

種 別	題 材	会 期	内 容	来館者
テーマ展	「京の古今をめぐる」ー京都市 歴史資料館名品展 I ー 担当：松中，宇野	4. 26～ 7. 23 (70 日間)	歴史資料館の収蔵資料の中から精選した逸品を紹介する「京都市歴史資料館名品展」を開催することにしました。第 1 回目は，「京の古今をめぐる」と題し，室町時代から明治時代にかけて，京都が歩んできた歴史の多様性を映し出した資料を紹介しました。	4, 191 人
企画展	「親子で探そう！残したい京都ー建物とお庭めぐりー」 担当：文化財保護課 (窓口担当：松中)	7. 26～ 8. 25 (26 日間) ナイトミュージアム 8. 23	のこしたい建物やお庭を京都市に推薦する「京都を彩る建物や庭園」制度。この制度で選ばれた建物やお庭が，2019 年 4 月で 400 件を突破したことを記念し，選りすぐりの建物やお庭を紹介しました。	2, 426 人 ナイトミュージアム 40 人
企画展	ICOM 京都大会開催記念 「京都市指定の文化財」 担当：文化財保護課 (窓口担当：松中)	8. 30～10. 20 (44 日間) ナイトミュージアム 9. 3	京都の歴史や文化を知るうえで欠くことのできない，特に重要な文化財を，毎年「京都市の文化財」として指定・登録。展覧会では，近年指定・登録された美術工芸品に，民俗文化財などを加え紹介しました。 また，地域住民の方々のご努力によって修理を終えた仏像を，修理後の初公開として紹介しました。	6, 627 人 ナイトミュージアム 91 人
特別展	上京と下京 ー都市の成り立ちと町衆ー 担当：秋元，野地	10. 25～ 2. 2 (78 日間) ナイトミュージアム 11. 27	上京区・下京区 140 周年を記念し，中世から近世の上京・下京を構成する町や町組の資料をはじめ，明治期の琵琶湖疏水事業を担った上下京連合区会の関係文書などから，都市・京都の成り立ちと町衆による自治の歴史を紹介しました。	7, 529 人 ナイトミュージアム 44 人
特別展	大河ドラマ「麒麟がくる」主人公 明智光秀「光秀と京」 (考古資料館等連携) 担当：井上，松中	2. 7～ 4. 5 (48 日間) ナイトミュージアム 3. 19	明智光秀は，織田信長のもとでは京都奉行（1573～75 頃）をつとめ，公家・寺社・町の人びととの交流がありました。織田信長奉行人連署状などから，明智光秀と京都政治や，多くの人びととの関わりについて紹介しています。	4, 859 人 ナイトミュージアム 16 人

2 講座

種 別	題 材	期 日	会 場	講 師	受講者
親子歴史講座	「京のまちをタイムトラベル！！むかしの地図を見てみよう！」	8. 7	新島会館	吉住, 井上	21 組 45 人
歴史講座	「古文書と日記に見る, 明智光秀」	2. 29	京都アスニー	井上	中止※
特別展「光秀と京」展 ミニ講演会	島津家久が会った明智光秀 -家久の上京日記をよむ-	3. 14	新島会館	野地	中止※
連続講座	「古文書を楽しく読もう！」	春期連続講座 5. 16～毎木 4 回	新島会館	入門編: 野地	37 人
				中級編: 井上	42 人
		秋期連続講座 10. 30～毎水 4 回	新島会館	入門編: 松中	44 人
				応用編: 井上	46 人
ギャラリートーク ※展示会のナイト ミュージアムにて	「親子で探そう！残したい京都 ー建物とお庭めぐりー」	8. 23	歴史資料館	文化財保護課	40 人
	ICOM 京都大会開催記念 「京都市指定の文化財」	9. 3	歴史資料館	文化財保護課	91 人
	上京と下京 ー都市の成り立ちと町衆ー	11. 27	歴史資料館	秋元, 野地	44 人
	大河ドラマ「麒麟がくる」主 人公 明智光秀「光秀と京」	3. 19	歴史資料館	井上	16 人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

3 講師派遣（他機関主催講座等への出講）

講 座 名	期 日	会 場	テーマ・内容	講師
アスニー学びのフォーラム山科	4. 17	アスニー山科	平安時代の美の演出 -「女房出袖」の華やかな世界-	吉住
アスニーセミナー	9. 6	京都アスニー	貴族たちの年間行事	宇野
京都府立鴨沂高等学校授業	9. 28 10. 19	鴨沂高校	京都文化プロジェクト	井上
考古資料館 ミニ講演会	10. 19	考古資料館	お土居からあらわれた木簡	井上
伏見連続講座	10. 27	伏見区役所	田辺朔郎の京阪運河構想と伏見港	秋元
下京区身体障害者団体連合会 「令和元年度 福祉のつどい」	11. 3	京都東急ホテル	上京と下京 -京都の成り立ちと町衆-	秋元
京都市考古資料館開館 40 周年記念 令和元年度文化財講演会	11. 16	京都アスニー	御土居跡出土の木簡と近世京都の 人々の暮らし	野地
桂支処創立 60 周年記念行事	2. 1	陸上自衛隊桂駐 屯地	都びとの生活と信仰	宇野
アスニー京都学講座	2. 22	京都アスニー	平安京の中間管理職	井上

4 資料の調査・収集・整理・保管・研究

京都の歴史に関する研究センターとしての役割を担うため、京都市域の歴史に関する古文書などの調査・収集に、大学等の外部研究機関とも連携して進め、収集資料の整理・保管・研究を行っています。

（１）京都市の個人所有古文書調査事業の実施

個人所有の古文書調査は、目録の作成、高精細デジタル撮影による資料整理を行い、目録を刊行・公開することにより、資料の有効活用に加え、資料の散逸を防ぎ、将来的な資料の保存に努めることを目的とし、令和元年度は、文化庁の「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」の国庫補助を受け、大学教授らを中心とする京都市古文書調査会（歴史資料館職員も参加）に委託して、「熊谷（純）家文書」の約500点を対象に実施しました。

（２）京都造形芸術大学伊達研究室・京都産業大学村上研究室による当館収蔵民俗資料の整理

当館寄託神家京秤座関係資料の整理・調査を実施しました。

（３）京都歴史文化施設クラスター実行委員会事業（あらゆる人々が参加できるプログラムの開発事業）への参画

地域の文化財の魅力発信、地域振興など、美術館・歴史博物館を中核とした関係機関との連携による文化クラスター創出に向けた取組を支援する文化庁の補助事業を活用した「京都歴史文化施設クラスター実行委員会」に参画しました。

5 歴史的公文書の調査・指定

歴史的公文書の調査及び指定、保管を行っています。

6 資料の供用・普及

収集・撮影した古文書などの資料及び所蔵する図書の公開を進めています。また市民の方からの歴史に関する相談に対応しています。

7 叢書の刊行

叢書京都の史料第16回「京都摺物集成 ～江戸時代の京のにぎわい～」を刊行しました。

8 史料管理システムの整備

調査・収集した古文書に関する情報管理のため、史料管理システムの整備を進めています。資料館のホームページで一部公開し、これまでに撮影した古文書の写真帳台帳（一覧リスト）及び古文書の解説などの情報も更新しています。

9 情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」の運営

京都市内にある歴史的資源の情報を、情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」
として、インターネットで発信しています。項目の追加・修正を中心に、サイトの運営を行っ
ています。

令和元年度は、平成 30 年度に引き続き、行財政局サービス事業推進室の協力を得て、石碑等
の確認作業を進めました。

10 博物館実習生の受入等

京都市内の各大学からの要請を受け、博物館実習生を受け入れ、館員の指導による実習を実
施しました。

期間：令和元年 8 月 20 日（火）～24 日（土）の 5 日間

大学：大谷：1 名、京都女子：1 名、京都橘：4 名、同志社：1 名、立命館：2 名 合計 9 名

内容：古典籍目録作成、古文書整理

京都市歴史資料館の概要

	京都市歴史資料館（昭和57年10月 設立）
事業 内容	京都市域の古文書を中心とした歴史資料の収集・保存・調査・研究・公開
収 集 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・一般資料（古文書）：約127,700点 ・写真複写（古文書）：約2,130,700コマ ・マイクロフィルム（新聞）：約1,200,000コマ ・歴史一般図書：56,296冊 ・美術工芸品，民俗資料：約210点
調査 研究 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・史料叢書の出版 ・研究紀要の発行
公 開 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ展示，企画展示，スポット展示 ・DVD映像 ・市民対象の各種講座 ・図書，資料の閲覧 ・歴史相談 ・情報システム「フィールドミュージアム京都」発信
特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ・「京都市政史」及び「叢書 京都の史料」編さん等を通して，積極的に資料収集を行ってきたが，その中心となるのは文献資料である。 ・調査・研究を積極的に行っている。
施設 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地上2階・地下1階 ・ 敷地面積 1,183 m² ・ 延床面積 2,016 m²

（平成31年3月31日現在）

歴史資料館の利用状況について

年度	年度合計			土日関係			閲覧件数			相談件数			
	入館者数	開館日数	1日当り	入館者数	開館日数	1日当り	件数	図書	古文書	件数	電話	来館	郵便
24	15,427	289	53	6,448	98	66	1,095	700	395	548	342	193	13
25	25,050	288	87	10,841	97	112	939	700	239	581	319	237	25
26	15,711	289	54	5,824	97	60	987	700	287	618	356	241	21
27	17,398	288	60	7,126	100	71	1,228	913	315	969	496	452	21
28	21,957	286	77	9,948	101	98	1,440	1021	419	799	427	353	19
29	20,096	285	71	8,764	99	89	1,200	871	329	710	392	303	15
30	18,730	283	66	8,028	96	84	1,201	893	308	623	338	277	8
元	26,339	280	94	10,373	94	110	1,178	775	403	568	272	282	14

【参考】前年度比数値比較 … 元年度／30年度

- 入館者数 40.6%増
- 入館者数 29.2%増
- 閲覧件数 2.0%減
- 閲覧件数 9.7%減
- 土日入館者数
- 相談件数

※平成25年度入館者数増の要因
特別展「岩倉具視の幕末維新」及び
平成25年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の
効果による。

歴史資料館ホームページアクセス数

年度	トップページ	1日当たり
27	40,731	112
28	53,478	147
29	69,874	191
30	83,314	228
元	99,021	271

京都市情報館ホームページ作成支援システムアクセスカウント数

※令和元年度入館者数増の要因
特別展「京都市指定の文化財」及び
令和2年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の
効果による。

【参考】前年度比数値比較 … 元年度／30年度
18.9%増

資料の収集状況について

1 館蔵資料の受入れ状況

(R2.3.31 現在)

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度	総 数
一次資料（古文書）	約 2,000	約 1,300	約 30,000	約 1,400	約 610	約 128,310 点
写真複写（古文書）	約 5,000	約 3,900	約 5,000	約 5,000	約 5,000	約 2,135,700 コマ
マイクロフィルム・ デジタルデータ（新聞）	約 20,000	約 20,000	約 20,000	約 20,000	約 20,000	約 1,220,000 コマ
図 書	452	298	195	211	213	56,509 冊
美術工芸品等	絵画，屏風，秤，枡，町旗，籠，消火器，つづら，祭具等					約 210 点

2 収蔵資料文化財指定の状況

	件数	点数	内 訳
重要文化財	5 件	3,900 点	兵庫北関入船納帳 1 冊 福井家旧蔵京枡座関係資料 2,139 点 八瀬童子関係資料 741 点 岩倉具視関係資料 1,018 点 古今和歌集 下 1 冊
市指定・登録文化財	25 件	13,201 点	岩倉具視関係資料 109 点 賀茂季鷹関係典籍類 1,268 点 京都市参事会文書 158 点 等

3 寄付受納物件（過去 5 年間）

年 度	品 名	数 量	寄 贈 者
平成 27 年度	古文書	4 箱	小松 正之
	古文書	約 500 点	大塚 隆
	古文書	4 箱・1 袋	中井 善明
	ガラス乾板	1 箱	明石 弓子
	古文書	1 箱	湯口 誠一
	古文書	1 幅	徳永 勲保
	古文書	1 袋	池田 弘一
	古文書	5 箱	稲波 美紀
	古文書	1 箱	岡嶋 薫
	古文書	1 袋	上芝 廣士
	古文書	1 箱	大塚 泰助
	絵葉書	1 袋	北城 伊三郎
平成 28 年度	古文書	約 280 点	大野 氏隆
	古文書・制札	約 500 点・3 点	徳田 正彦

	衣装・制札	17 点・2 点	中村 勇
	古文書	1 点	石塚 晶子
	和本・漆器	8 点	五十嵐 高明
	古文書・書画	478 点	山下 信子
	古文書	約 40 点	遠藤 慶子
平成 29 年度	古文書など	約 60 点	杉村 正臣
	古文書	約 30,000 点	田中 子朗
	古文書	11 点	田村 昌巳
	絵図	2 点	上田 壽一
	絵はがき	7 点	雁瀬 一郎
	古文書	1 点	倉内 仁
	古文書	7 点	岩佐 敦子
	古文書・看板	1 点・4 点	西田 俊一
	古文書・木箱	44 点・1 箱	武内 一樹
	掛軸・短冊	66 点	澤井 多年夫
平成 30 年度	古文書	1 点	鹿谷 逸郎
	古文書	2 点	中井 博一
	古文書	約 50 点	大嶋 正博
	古文書・書画・版本	40 点	福田 叡子
	図面・書類など	約 260 点	間野 嘉津子
	鉢巻・地図	5 点	藤野 正弘
	和菓子関係道具類	118 点	杉谷 禎治
	版本・洋装本・写本	924 点	西山 洋
	額	2 点	大岡 千鶴子
令和元年度	絵葉書集など	8 点	文寿 誠二
	胸像	1 点	大野 茂
	写真など	140 点	山根 渉
	図書	1 点	山添 敏文
	古文書・装束など	約 60 点	小西 弘泰
	絵図	1 点	田中 良夫
	絵葉書	10 点	中野 繁成
	地蔵盆飾り・祠	一式・1 棟	下高倉町
	地蔵盆前掛など	4 点	本能寺町
	陣笠・肖像・書状など	約 50 点	後藤 欣哉
	古文書	165 点	門田 邦代
	古文書など	154 点	福屋町内会
	カメラ・レンズ・アルバム	7 点	塩見 昌平

令和 2 年度事業計画

1 展示

種 別	題 材	会 期	内 容
特別展	叢書京都の史料刊行記念 「京都摺物集成 ー江戸時代の 京のにぎわいー」 担当：吉住，野地，秋元	4.10～ 6.14 延期中※ ナイトミュージアム 未定	今回の叢書は、古地図収集研究家の大塚隆氏より当館に寄贈された大塚コレクションの中から、江戸時代の京都の様子を知り得る摺物を影印したものです。今回は特に情報を提供する史料的な摺物に限定しています。人気のある年中行事や皇室に関連したイベント、幕末の動乱から政治的な諷刺など実に多彩な江戸時代の摺物の世界を紹介します。
特別展	「京都市の文化財展 ～オリンピック・パラリンピック 運動事業～」 担当：文化財保護課 (窓口担当：松中)	6.19～ 8. 2 ナイトミュージアム 未定	世界中から日本へ多くの方が訪れる東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に合わせて、市民に皆様だけではなく、世界中の人々に広く京都市の貴重な文化財を普及啓発することを目的として、特別展「京都市の文化財展」を開催し、文化財保護の重要性について、広く知っていただく機会とします。
テーマ展	「京の地蔵盆」 担当：宇野，松中	8. 7～ 9.27 ナイトミュージアム 未定	京都の夏の風物詩ともいえる地蔵盆。昨年、寄贈を受けた地蔵盆に関わる一式を展示室内に復元し、地蔵盆の歴史と文化を鑑賞していただきます。
テーマ展	「京・地域のくらし 3 (鞍馬)」 担当：野地，宇野	10. 2～ 1 中旬 (未定) ナイトミュージアム 未定	鞍馬寺の門前集落として、また洛北地域の中核集落の一つとして歴史を積み重ねてきた鞍馬。炭商売などの日々のくらしや、竹伐り会や火祭りなどの行事に関する古文書・道具などを展示紹介します。
テーマ展	「京都市の名品展 2」 担当：秋元，井上	1 下旬～4 中旬 (未定) ナイトミュージアム 未定	歴史資料館では、「京都の歴史」に関わる資料を長年にわたって、調査・収集してきました。その多くは、市民や地域の団体の皆さまから御寄贈・御寄託をいただいたもので、古くから京都の歴史に関心を抱く方々が大切に保管されてきた貴重な資料ばかりです。 こうした収蔵資料の中から、歴史資料館の視点で選んだ名品を御紹介する企画として、中世から近現代までの収蔵品の数々を紹介します。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

2 講座

種 別	題 材	期 日	会 場	講 師
歴史講座	叢書京都の史料刊行記念 「京都のにぎわい ―江戸時代の摺物―」	中止※	新島会館	吉住
	「京・地域のくらし3 鞍馬」(仮題)	10 (未定)	左京区役所	野地
		10 (未定)	鞍馬寺歓喜院・修養道場	野地
	「京都市の名品展2」(仮題)	3 (未定)	未定	未定
夏休み子ども 歴史講座	「京の地蔵盆」	8 (未定)	新島会館	宇野
連続講座	「古文書に親しむ」シリーズ 楽しく古文書を読もう	6. 10, 7. 8, 11. 11, 12. 9, 2. 10, 3. 10 水曜日 6 回	京都アスニー	宇野
	「古文書を楽しく読もう！」	春期連続講座 5. 14～木 4 回 (6. 4除く)	新島会館	初級編：宇野 中級編：野地
		秋期連続講座 10. 21～水 4 回	新島会館	入門編：秋元 中級編：吉住
ギャラリート ーク ※展示会のナイト ミュージアムにて	叢書京都の史料刊行記念 「京都摺物集成 ―江戸時代の京のに ぎわい―」	未定	歴史資料館	吉住
	「京都市の文化財展 ～オリンピック・パラリンピック連動 事業～」	未定	歴史資料館	文化財保護課
	「京の地蔵盆」	未定	歴史資料館	宇野, 松中
	「京・地域のくらし3 (鞍馬)」	未定	歴史資料館	野地, 宇野
	「京都市の名品展2」	未定	歴史資料館	秋元, 井上

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため

3 講師派遣 (他機関主催講座等への出講)

講 座 名	期 日	会 場	テーマ・内容	講 師
アスニー学びのフォーラム山科	5. 13	アスニー山科	京都のにぎわい ―江戸時代の摺物の世界―	吉住
アスニー京都学講座	10. 17	京都アスニー	鞍馬の行事とくらし (仮題)	野地

4 資料の調査・収集・整理・保存・研究

京都の歴史に関する研究センターとしての役割を担うため、京都市域の歴史に関する古文書などの調査・収集に、大学等の関係機関と連携し、収集資料の整理・保管・研究を行っています。

(1) 京都市の個人所有古文書調査事業の実施

個人所有の古文書調査は、目録の作成、高精細デジタル撮影による資料整理を行い、目録を刊行・公開することにより、資料の有効活用に加え、資料の散逸を防ぎ、将来的な資料の保存に努めることを目的とし、前年度に引き続き、文化庁の「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」の国庫補助を受け、実施します。

令和2年度は、「熊谷（純）家文書」の残り約900点を対象にするとともに、「下村（忠）家文書」約200点を対象とする予定です。

(2) 京都造形芸術大学伊達研究室・京都産業大学村上研究室による当館収蔵民俗資料の整理

前年度に引き続き、当館寄託神家京柰座関係資料の整理・調査を実施します。

(3) 京都歴史文化施設クラスター実行委員会事業（あらゆる人々が参加できるプログラムの開発事業）への参画

地域の文化財の魅力発信、地域振興など、美術館・歴史博物館を中核とした関係機関との連携による文化クラスター創出に向けた取組を支援する文化庁の補助事業を活用した「京都歴史文化施設クラスター実行委員会」に参画し、AIを活用した地域の古文書解読人材の育成に取り組めます。

5 歴史的公文書の調査・指定

歴史的公文書の調査及び指定を行います。

6 資料の供用・普及

収集・撮影した古文書などの資料及び所蔵する図書の整理・公開を進めます。また市民の方からの歴史に関する相談に対応します。

7 研究紀要の刊行

『京都市歴史資料館紀要』第29号を刊行します。

8 「叢書 京都の史料」の再版

歴史資料館の古文書調査の成果をもとに、史料集の刊行を行ってまいりましたが、人気が高く完売し、要望の高い叢書を再版します。

平成27年度刊行の「内裏図集成 京都御所と公家町」及び平成29年度刊行の「久多荘文書」を予定しています。

9 史料管理システムの整備

調査・収集した古文書に関する情報管理のため、これまでに収集し、調査・撮影した古文書の写真帳台帳及び古文書の解説などの情報を整備・更新します。

10 収蔵資料のデジタル化事業

歴史資料館は約13万点にのぼる古文書をはじめ美術工芸品、民俗資料を収蔵しており、一般市民や世界の歴史研究者の利用に供しています。

ただし、歴史資料館の収蔵品のほとんどはコンピュータによる検索ができない不便な状態にあり、こうした現状を一刻も早く解消するため、デジタル化を進め古文書等の目録・画像データを整備し、検索を容易にします。

また、現在使用している撮影機材・加工用ソフト等が老朽化しているため、デジタル化に対応できるよう更新します。

11 情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」の運営

京都市内にある歴史的資源の情報を、情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」として、インターネットで発信しています。項目の追加・修正を中心に、サイト運営を行います。

12 博物館実習生等の受入

京都市内の各大学からの要請を受け、博物館実習生を受け入れ、館員の指導による実習を実施します。

博物館実習 令和2年8月25日（火）～29日（土）予定

13 資料の活用等についての検討

収蔵資料活用のための整理とともに、収蔵スペースの狭隘化への対応として、一部資料の学校空き教室を活用した一時保管等を進めるとともに、施設のあり方についての検討を進めます。

14 京都観光あゆみ継続事業への参加（主管：産業観光局 観光MICE推進室）

令和2年度に、京都市に観光課が創設されて90周年を迎えることから、これまでの歩みを振り返る観光課90年の歩み（WEB、冊子等）事業が実施されます。この取組に市政史編さんの蓄積を生かし参加します。

京都市歴史資料館 歳入・歳出 予算・決算額 推移表

[歳 出]

(単位：千円)

		2 年度		元 年度		3 0 年度		2 9 年度		2 8 年度	
		予 算	決 算	予 算	決 算	予 算	決 算	予 算	決 算	予 算	決 算
管理運営	一般経費	17,587		17,444		18,555	17, 448	19,183	17, 995	19,758	17, 851
	特別経費	2,800		2,100		7,000	6, 361	3,200	369	3,800	1, 732
		京都市の文化財展 ～オリンピック・ パラリンピック連 動事業～		ICOM京都大会連携 京都市の文化財展		明治150年記念事 業「いま明治を考 えるプロジェクト」		鴨川・高瀬川地域 の歴史遺産継承・ 活用		鴨川・高瀬川地域 の歴史遺産継承・ 活用	
	特別経費	1,000								3,000	2, 985
		資料叢書編さん								岩倉具視関係資料 の修復	
	特別経費	4,000									
		歴史資料館収蔵資 料のデジタル化等									
	特別経費	2,000									
		京都市の古文書調 査事業									
計		27,387		19,544		25,555	23, 809	22,383	18, 364	26,558	22, 568

[歳 入]

		2 年度		元 年度		3 0 年度		2 9 年度		2 8 年度	
		予 算	決 算	予 算	決 算	予 算	決 算	予 算	決 算	予 算	決 算
刊行書籍販売		1,702		502		502	787	502	298	502	461
資料コピー料金		300		300		300	262	300	270	300	349
古文書講座受講料		384		384		384	354	384	366	384	330
補助金等		1,000				3,500	3, 100	3,200	369	3,800	1, 733
		地域活性化のため の特色ある文化財 調査・活用事業				明治150年記念事 業「いま明治を考 えるプロジェクト」		鴨川・高瀬川地域 の歴史遺産継承・ 活用		鴨川・高瀬川地域 の歴史遺産継承・ 活用	
計		3,386		1,186		4,686	4, 503	4,386	1, 303	4,986	2, 873

平成30年度 京都市歴史資料館評議委員会議 議事録

1 日時 平成31年3月12日（火）午後3時30分～4時30分

2 会場 同志社 新島会館2階 貴賓室

3 出席者

評議委員：荒木かおり，上原恵美，片山真理子，鈴木久男，田端泰子，野口実，
藤野正弘

京都市：文化市民局文化芸術都市推進室 西山担当部長，中川文化財保護課長
歴史資料館 井上館長，宮崎次長 他

4 議事運営

(1) 開会

京都市市民参加推進条例第7条により本会議及び議事録等について公開とすることを説明。

(2) 開会あいさつ

(3) 出席者の紹介

(4) 平成30年度事業報告説明（資料2参照）

展示事業は，特別展3展，企画展2展，スポット展3展を開催。

展示の関連講座は，史料叢書刊行記念シンポジウム「久多，はるかなる中世から現代まで」，連続歴史講座「激動の明治と京都の元勳」を3講座及び「明治京都の開拓者たち」を4講座実施。

研究紀要と史料叢書は隔年度で刊行しており，平成30年度は研究紀要第28号を刊行。

情報提供システム「フィールド・ミュージアム京都」は，行財政局サービス事業推進室の協力を得て，全件の所在を確認し，写真撮影をし，情報を更新する取り組みを進めた。平成31年度も継続して実施。

展示来館者は2月末現在，例年に比べ7パーセントの減少。資料の閲覧者数は増えているが，相談件数は1割減少。

(5) 質疑応答

〔評議委員〕 京都歴史文化施設クラスター実行委員会の予算はどこから出ていて，どういう組織なのか。

〔市・資料館〕 京都文化博物館が中心となり，京都市からは文化財保護課，考古資料館，歴史資料館，学校歴史博物館が参加している。予算は，国の補助金。事務局は京都文化博物館が担当。歴史資料館は，博物館相当施設ではないため，国の補助事業の主体となることができないため，実行委員会を通じて補助金を得ている。

〔評議委員〕 個々の事業により主体が変わるのか。

- [市・資料館] 歴史資料館が行う事業もあれば、考古資料館で行う事業もある。
- [評議委員] 市役所外の組織を上手に利用していることに感心した。
行財政局サービス事業推進室は、歴史資料館が持っている石碑のデータをもとに、所在の有無を確認しているのか。
- [市・資料館] 歴史資料館にある石碑のデータと写真を渡し、確認している。
- [評議委員] 西郷隆盛の息子の西郷菊次郎が京都市長を務めており、関係資料も展示できればと思う。
- [評議委員] 博物館相当施設とはどういう施設で、歴史資料館がこれに該当しない要件は何か。
- [市・資料館] 博物館法では、登録施設、相当施設、類似施設の三種類がある。歴史資料館と考古資料館は博物館類似施設という位置付け。博物館相当施設となるためには、どういった資料を所蔵しているのか、学芸員がどういう体制なのかなど様々な制約がある。手続きに向け準備を進めている。
- [評議委員] 博物館相当施設のメリットはなにか。
- [市・資料館] 文化庁などから補助金を得る際に、受入れ主体となることができる。博物館相当施設でない現状では、今回のような組織に参加が必要。
- [評議委員] 博物館相当施設をめざして準備をしているということか。
- [市・資料館] 窓口である教育委員会と協議を進めている。
- [評議委員] 京都市の他の施設で、博物館相当施設はどこか。
- [市・資料館] 学校歴史博物館や京都市美術館になる。
- [評議委員] 博物館相当施設になるためには、空調や温湿度管理といった施設面の課題も大きい。
- [市・資料館] 展示室の側面のガラスが可動式のため、隙間があり温湿度管理が難しい。エアタイトの展示ケースは1台しかない。それでも博物館相当施設への申請を考えたのは、京都市の財政が厳しい中、国からの補助が可能になるからである。
- [評議委員] 展示環境について、酸性化している資料の劣化を止める「ガスQ」というシートは、活用しているのか。
- [市・資料館] フィルムの保管に活用している。
- [評議委員] 博物館相当施設に関しては、厳しく審査されるので、保存の面もそうだが、展示施設そのものが酸性でないようにしなくてはならない。
資料の搬入経路は何箇所あるのか。
- [市・資料館] 東側と西側の二箇所になる。
- [評議委員] 館の入口の扉を開閉する際、扉の下の際間から虫が入ってくるのではないか。かき出すブラシを付けるといった工夫で防ぐことがでる。工夫次第で改善できる部分はまだまだある。

[市・資料館] 「ガスQ」の購入など、できる範囲内にはなるが、対応している。

(6) 平成31年度事業計画説明(資料3参照)、歴史資料館運営予算説明(資料4参照)

展示は、所蔵名品展、文化財保護課と連携した「京都を彩る建物や庭園」展示、I COM京都大会を記念した京都市の指定、登録文化財の展示、上京区・下京区140年に関連する展示、NHKの大河ドラマで取り上げられる明智光秀の展示を予定。

講座は、展示に関連する歴史講座を予定。展示解説の回数を増やすことも考えている。その他、春と秋に古文書講座、夏休みに親子歴史教室を行う。

資料の調査・収集・整理・保管・研究については、文化庁の助成事業により文化財保護課と協力し「京都市内個人所有古文書調査」を実施する予定。

「叢書 京都の史料」の第16回配本として「摺物絵集成」を刊行する予定。

歴史資料館の収蔵スペースが厳しい状況になっていることから、旧淳風小学校の教室を使用している。

また、考古資料館を含めた施設のあり方について検討を進めており、より良い収蔵施設を確保し、資料の整理、活用につなげていきたい。

予算は、平成31年度歳出の一般経費が平成30年度より70万円の減額。特別経費はI COM京都大会関連の文化財展の費用になり、展示台を改修する予算を含んでいる。文化庁の助成で実施する「京都市内個人所有古文書調査」は、文化庁が二分の一、京都市が二分の一の費用を負担するが、歴史資料館の予算には含まれておらず、文化財保護課の予算になる。

(7) 質疑応答

[評議委員] 「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」は、どれくらいの予算を想定しているのか。

[市・資料館] 古文書調査の予算は、文化財保護課が100万円、国が100万円、合計200万円になる。継続事業なので、今年国から認められれば引き続いて要求し、京都市の予算も確保するようにしていきたい。

[市・資料館] 国が優先順位を付けており、一次募集では採用されなかったが、二次募集に申請するよう努力する。

[評議委員] 世代交代が進み、古文書を引き取ってほしいという依頼がたくさんあると思う。そうした場合に、古文書を収蔵する場所の確保や収蔵環境の管理といった施設に対する費用を、「地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」では支出できないのか。

[市・資料館] 調査や調査の成果を発信するための補助事業になる。施設に対する費用は対象にならない。収蔵、保存環境は、切迫した課題として検討を進めている。

[評議委員] 調査に付随する費用が相当必要であるということを認識し、しっかりと進めてもらいたい。

[評議委員] 予算が少ない中で、さらに5パーセントの削減は、考え直すべきだ。入館

者数が増加していることを上手くアピールすれば、予算の付き方も変わってくるのではないかと。また、叢書が平成31年度刊行される予定になっているが、費用は管理運営費から支出するのか、別立てか。

[市・資料館] 叢書の刊行は、平成28年度から管理運営費に含んでいる。予算は、市全体として削減しなければならない中で、外部からお金を取る努力を進めている。予算は減少しているが、できることが減らないように工夫している。

[評議委員] 大型の地図や古文書をスキャンする装置は整っているのか。

[市・資料館] スキャナーは、A3が最大になる。

[評議委員] A3でカバーできない場合はどうしているのか。

[市・資料館] デジタルカメラで離れた距離から撮影するか、分割して撮影している。

[評議委員] 資料の保存と活用について、歴史資料館の入口から展示室までの距離が短いのは良くない。雨が降ると、外気の湿度がそのまま入ってしまう。人の移動によって、ちりやほこりも入る。予算が潤沢に無いのはわかるが、展示室や展示ケース内の温湿度の変化など基礎的なデータを収集しておくことが必要。考古資料館とは異なりデリケートな資料を扱っており、光や湿度について基礎データの収集を事業計画に入れ、積み重ね、施設の改善要望をするのが良い。

[市・資料館] 市民から、歴史資料館に寄贈・寄託を受け、安心してもらえる施設を目指している。いろんな機会に要望していく。

[評議委員] 昨年、映像展示が古いことを指摘したが、まったくリニューアルされていない。京都の歴史を通史的に語る施設がどこにもないという状態をどうにかしなければいけない。京都は歴史が前提になっているのに、他の自治体と比べて文化行政、歴史博物館行政に振り向ける予算の割合が少ない。歴史があって京都市の財政が成り立っているのだから、もっと要求していただきたい。予算の獲得、博物館行政のあり方、ガイドの養成のあり方など、フィレンツェの文化財、博物館行政の事例は参考になる。

収蔵品のリストをホームページにアップしてもらいたい。そうすれば閲覧者が増える。

また、展示リーフレットは、形式を統一して年度末にハードカバーを付けないと蓄積がなくなる。本当は図録があればいいが。

京都市歴史博物館構想が立ち消えになっている。考古資料館、京都アスニー、歴史資料館、埋蔵文化財研究所などの施設がバラバラなので、うまく連携できないか。京都市民が京都の歴史を考える時、どこに行ったらいいかわからない。チャラチャラした観光都市で終わってしまう気がする。

[評議委員] フィレンツェの歴史博物館に2、3年前に行ったことがあるが、びっくりするほどIT化が進んでいた。遺跡が本来はどうだったのかという復元の映

像が立ち上がり、映像で遺跡が再現されていた。この映像を見てから遺跡を見るべきで、フィレンツェを楽しめるツールとして有効だと思った。

[市・資料館] ITや映像を使った取り組みは、一つの示唆になる。身近なところから少しずつでも進めていきたい。

(8) 評議委員について

[市・資料館] 市民評議委員は2年間の任期が終わり、新たに次の市民評議委員を募集した。7名の応募があり、検討した結果、現状認識や歴史資料館の立地条件を活かす取り組みについて提案いただいたB氏にお願いすることとなった。学識経験者の評議委員は、2年間の任期で3回まで更新できることになっており、上原委員、鈴木委員、田端委員、野口委員の4名には交代していただくこととなる。新たな委員については選考を進めているところである。

退任される委員の方から意見を頂戴したい。

[評議委員] 一番大切なのは説得力のあるデータだと思う。施設の改修についても温湿度がどうなっているのか、事実を積み重ねて提示していくことが必要。

[評議委員] 歴史は地域の中で育まれてきたもの、地域の方に伝える努力を続けていただきたい。

[評議委員] 京都は、圧倒的に歴史で成り立っていることを、もっと自己主張すべき。ポリシーを持って文化行政を進めるべきだ。

[評議委員] 情報の発信が大切である。

(9) 閉会あいさつ

京都にはいろいろなものがあり過ぎて、その上にあぐらをかいている部分が多い。観光は社寺がメインで、歴史資料館が取り扱っている古文書などの部門に対してウェイトが軽かったのではないかと感じている。あの手この手で予算を取りにいつている。いろんな場面で声をあげていただき、そうした声が市長に届くことは、我々にとっても非常に大きな後押しとなる。任期を終えられる方が多いが、これからも応援団として意見を届けていただきたい。